

自慢の逸品が大集合

10/20・21 観光物産フェア

観光物産フェアが2日間にわたりきらめきみなと館で行われました。敦賀市内に加え友好姉妹都市や近隣市町などの様々な品物が並んだほか、昆布すき体験やふぐ鍋のふるまい、鮮魚セリ市などたくさんのイベントも行われました。お馴染みの敦賀ラーメンの屋台は、長い行列ができる盛況ぶり。会場は大勢の来場者でにぎわい、各地の自慢の一品や敦賀の魅力を存分に楽しんでいました。

威勢のよい掛け声が飛び交ったセリ市



3,149人のランナーが市街地を駆ける!

10/21 敦賀マラソン

第28回を迎えた「敦賀マラソン」が行われ、平成に入ってから最多の3,149人のランナーが健脚を競いました。大会は、2年前から市街地コースへと変更。相生・神楽通りを発着点とし、気比の松原へと向かうコースになりました。

今年も沿道には多くの観客が駆けつけ、ランナーらは声援をバックに、一生懸命敦賀の街中を走りました。

号砲とともに勢いよくスタートする小学生男子

敦賀の歴史的建造物を大切に

10/22 シンポジウム「近代化遺産との共生」

「旧紐育スタンダード煉瓦倉庫の保存と活用」と題して、赤レンガ倉庫のこれからを考えるシンポジウムがきらめきみなと館で行われました。

最初に、立命館大学・歴史都市防災研究センター教授の益田兼房氏が講演。その後、福井大学大学院講師の高嶋猛氏ら4人によるパネルディスカッションが行われ、聴衆は赤レンガ倉庫の活用についての議論に聞き入っていました。

益田兼房氏による講演



ホームページ (<http://www.ton21.ne.jp/>) でも公開中!
(ここに載せきれなかったイベントも掲載しています)

あなたが写っていたらご連絡ください。写真を差し上げます。

広報広聴課 ☎22-8112

2年目も大盛況!

10/7・8 敦合祭(つるがっさい)

関西と県内の学生らによるミニ学園祭「敦合祭」が駅前広場で行われました。この祭りは、昨年10月のJR直直化を記念して始まったもので、今年に関西から関西学院大を中心に約60人、地元からは敦賀短大と敦賀高校などから約30人が参加しました。

会場には、大学祭ではおなじみの模擬店をはじめ、化学実験やオリジナルランタン作りなどのブースが並び、学生らが元気よくお客さんに声を掛けていました。また、7日には、敦合祭に合わせ、駅前商店街主催のふれあい市も行われ、駅前には終日観光客で賑わいました。

学生が作った綿菓子を受け取る親子連れ



オープンも手作りです

10/14 少年自然の家 秋のふれあいフェスタ

秋のふれあいフェスタが少年自然の家で行われ、市内の小学生55人がきのこ採りとピザ作りに挑戦しました。ピザ作りでは、まず、ピザを焼くオープンを作るところからスタート。ダンボールの中に隙間がないようにアルミ箔を貼り、その後、中に鉄串を数本通して、ピザを載せる台を作りました。

オープンが出来上がると、自分たちでトッピングをしたオリジナルピザを入れ、約40分かけてじっくり焼き上げました。最後は、アツアツのピザを味わい、「すごくおいしい!」と子どもたちは大喜びでした。



手作りのオープンに、こぼさないようにそっとピザを入れる子どもたち

“みち”を使って賑わいづくり

10/19・22 国道8号みちづくり実証実験

市の中心部を走る国道8号(白銀交差点~気比神宮前交差点)の四車線区間を二車線にする実証実験が、10月19日から4日間にわたり行われました。この実験は、敦賀バイパス(田結~小河口)全線供用後の道路空間の活用方法を検証するのが目的。全線供用後は大幅に交通量が減少することが予想されています。

20日(土)、21日(日)には、二車線によって生まれた道路空間や路側帯の駐車場を利用し、ペロタクシーの運行や幼稚園児の踊り、フリーマーケットやオープンカフェなど各イベントが催されました。今後は、期間中に実施したアンケートを元に意見を集約し、実験の結果を検討していきます。



8号線の駐車場を利用して行われた松陵幼稚園の園児による踊り